

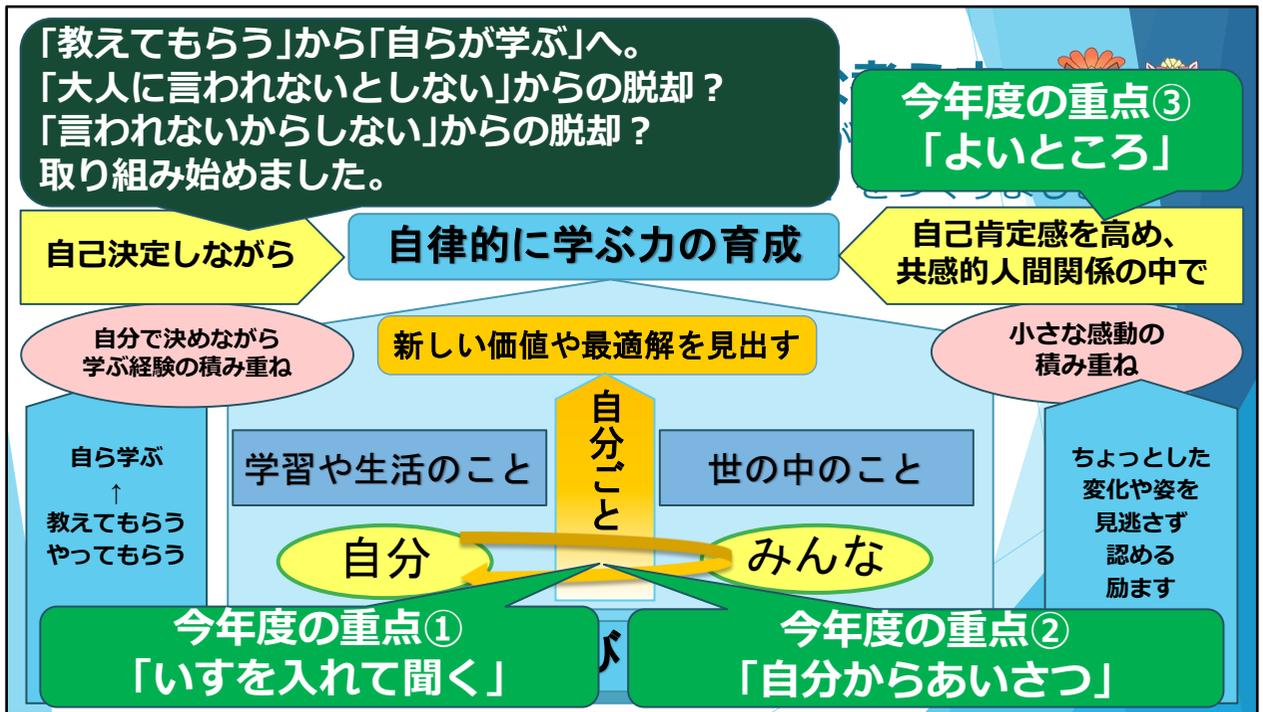
令和7年度
金沢市立三馬小学校
第2回スクールフォーラム



令和8年 1月30日(金)



1月30日(金)のスクールフォーラムが、大雪のため、紙面開催となりました。画面と共に解説をお読みいただき、ご理解いただければと思います。



今年度、4月にもお伝えしたとおり、以下の3つに重点的に取り組みました。

- ① 「いすを入れて聞く」
- ② 「自分からあいさつ」
- ③ 「人のよいところをよいと言える」

さらに、「学ぶ」ことを自分ごととして捉えながら、学習に向かうことを大切にするための授業づくりにも取り組み始めました。

以上の3つの重点と「学ぶを自分ごとに」の取組を含めて、学習や生活等について、ご紹介します。

学習について

- ▶ 「自分ごと」で考える学習
- ▶ 話は「いすを入れて聴く」
- ▶ 家庭学習は10分×学年

学習面について、以下の3点をご紹介します。

①自分ごとで考える学習

日頃の授業の中で「自分ごと」を大切にするために、以下の2つの手立てを大切にしました。

- ・児童から「考えたい！」を引き出すための手立て
- ・授業の中盤では、子ども同士の学び合いをつくるための手立て

②相手の話はいすを入れて聞く

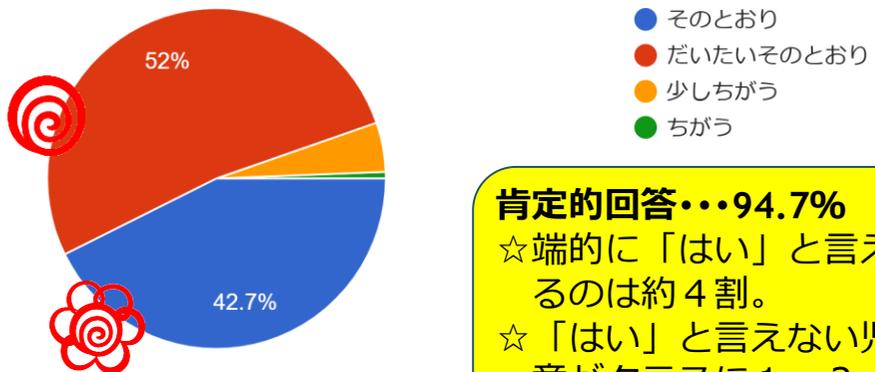
毎月の全校朝会、その他、学級での日常的な指導を繰り返し「いすを入れて聞く」に取り組んできました。

③家庭学習は10分×学年

日頃からのご家庭での関わりに加え、年に3回家庭学習強化週間にも取り組ませていただきました。ありがとうございました。

▶「自分ごと」で考える学習～児童アンケート～

授業（じゅぎょう）の内容（ないよう）を「自分ごと」で考えることができた。
490 件の回答



ご紹介した取組について、児童が実際にどのような感じているのか、これは児童アンケートの結果です。

①自分ごとで考える学習

「自分ごと」として考えることができたと答えた児童は94%でした。しかしながら、「できましたか？」と聞かれ、端的に「はい」と答える児童は約4割。クラスに1, 2人は「はい」とは言えないという評価をしています。

まだまだ伸びしろがある子どもたちだと思います。



「自分ごと」を大切に、今年度から、「学ぶのは自分だ」という意識で学ぶことができるように、「自分一人で考える」か「友だちと考える」か「一斉の中で考えるか」を自分たちで選択しながら学習するよう、全校で取り組み始めました。

これは、6年生の様子です。先生が一方向的に教える授業とはちがうスタイルも取り入れ始めています。



< 5年生の様子 >



< 4年生の様子 >



< 3年生の様子 >



< 2年生の様子 >



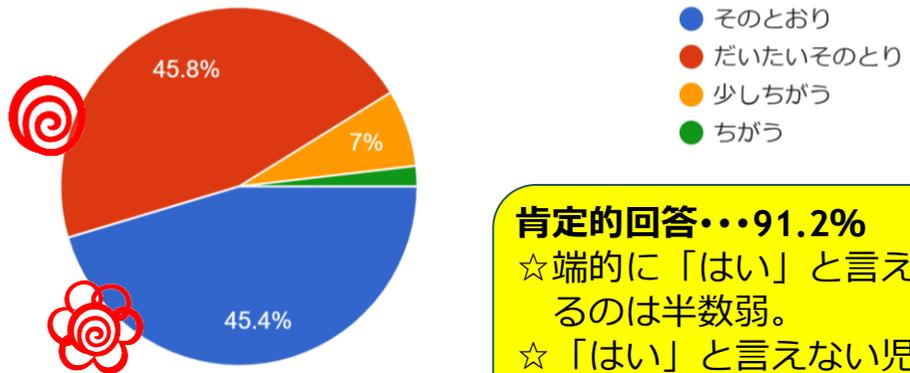
< 1年生の様子 >

このように、どこかの学級、学年ではなく、全校で取り組み始め、「学びの主体は自分なんだ」と児童が自覚しながら学習に向かうようになっていけばと期待しています。

▶話は「いすを入れて」聴く～児童アンケート～

友だちや先生の話「いすを入れて」聴く（きく）ことができた。

489 件の回答



肯定的回答・・・91.2%

☆端的に「はい」と言えるのは半数弱。

☆「はい」と言えない児童がクラスに2, 3人。

②「いすを入れて聞く」

椅子を入れて聞くことができたと答えた児童の割合については、91%が肯定的な回答をしています。

「はい」とはっきり答える児童は約半数。クラスに2, 3人は「はい」とは言えないと答えている状況です。

「聞く時はいすを入れる」がみんなっ子の当たり前になるよう繰り返し指導していきます。

くずれたらもどす 粘り強く 価値付くまで



手を挙げていても



中学年



高学年



低学年

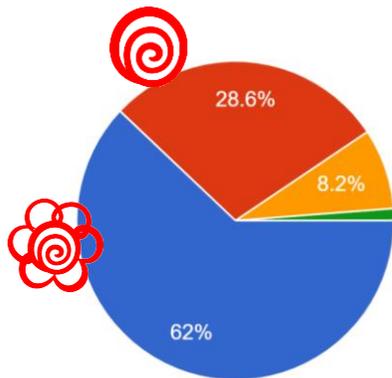
「聞く」を整えることは、人と関わる基礎・基本です。

「くずれたら立ち止まり、もどす。」

児童の当たり前になるまで、粘り強く関わっていきます。

▶家庭学習は10分×学年～児童アンケート～

家庭学習(かていがくしゅう)に、決められた時間(10分×学年)、取り組むことができた。
490件の回答



- そのとおり
- だいたいそのとおり
- 少しちがう
- ちがう

肯定的回答・・・90.6%

☆端的に「はい」と言えるのは約6割。

☆「はい」と言えない児童がクラスに2、3人。

③家庭学習10分×学年

できたと答えた児童は90%と、どれも肯定的な評価の割合が高かったです。

他の項目に比べて「はい」とはっきり答えた児童も多く、約6割いました。ご家庭での支え合っているものと思います。

ありがとうございます。

それでも、やはり、クラスで2、3人はできていないと答えていますので、今後も粘り強く取り組んでいく必要があると思います。

学習についてのよかったところ、 課題となっているところ

- ◎ 学習課題を自分ごととして捉え、
自分はどうしたいかを自己選択する姿が増えた。
- ◎ 「いすを入れて」はできる児童が大幅に増加し、
「聞く」の構えができてきた。
- ◆ 各学級に1～3名程度の割合で「できる」と答える
ことのできない児童がいる。
- ◆ 算数の基礎的な計算が身に付いていない児童がいる。

学習について、よかったところと課題となっているところをまとめました。

あるクラスでは、子ども達から「いす入れよう」の言葉が表出し、子ども達同士で意識している姿も見られるようになりました。

課題としては、先ほど数値でお示しした通り、各項目に対して苦手意識のある児童が一定数います。

学習に関して言うと、全体的に算数の計算領域（九九、筆算、分数の計算など）に苦手意識をもっている児童が多いです。そんな児童にも寄り添って、支援を行っていきたいと考えています。

ご家庭でも、家庭学習に取り組む時間を見守っていただいたり、努力の過程を認め励ましていただいたりすることで、子どもたちの学ぶ意欲につながります。

学校と家庭が連携しながら、子どもたちの学びを支えていければと考えております。今後とも、家庭学習へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

生活について

▶生活指導（よりよい生活習慣の定着）

思いやりの心 言葉遣い 身だしなみ あいさつ 時間

おこのみあじ

黄色ぼうし・ネーム

▶教育相談・児童理解

- ・「いじめ見逃し0（ゼロ）」
- ・自己肯定感の向上

次は、生活面について、2つご紹介します。

①生活指導（よりよい生活習慣の定着）

よりよい生活習慣を身につけるために、全校朝会や昼の放送、毎月の生活目標などで指導をしてきました。

②教育相談・児童理解

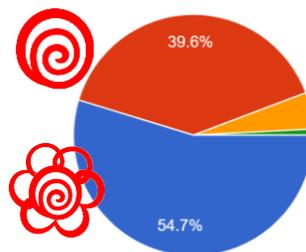
児童の困り感や悩みに対応できるように、抱える不安や悩みにしっかり傾聴すること、先生個人ではなく学年や学校全体といったチームで対応することにも力をいれてきました。

▶生活指導（よりよい生活習慣の定着）
「きまりを守ろうとしている」～児童アンケート～

思いやりの心 言葉遣い 身だしなみ あいさつ 時間

おこのみあじ

黄色ぼうし・ネーム



大人の言うことを聞く子？
きまりやルールの
意味を考え、実行できる子の育成

肯定的回答・・・94.3%

☆端的に「はい」と言えるのは半数強。

☆「はい」と言えない児童がクラスに1，2人。

①生活指導について

本校では、清泉中学校との取り組みで「おこのみあじ」を基本として生活習慣が身につくように指導しています。その中で今年は、学校として「黄色ぼうしの着用、ネームの着用」を指導しています。

今年度の児童アンケートの結果より、「きまりを守ろうとしているか」のアンケートでは、94.3%の肯定的な結果となりました。ですが、「はい」と言えない児童も一定数おり、細かいところで身だしなみや持ち物などきまりやルールが曖昧な子がいるのも現実です。

三馬小学校には三馬っ子のきまりがあります。

来年度の三馬っ子のきまりをテトルにて配信しました。新年度をむかえる前にぜひ、一読していただき、お子様ときまりの意味について話し合ってください。

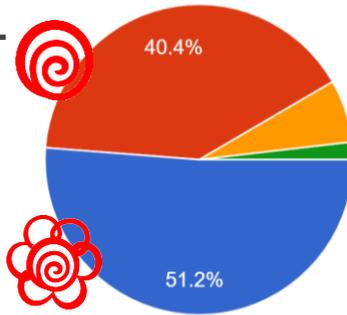
▶教育相談・児童理解

「自分や友だちのいいところを見つけることができる」

～児童アンケート～

「いじめ見逃し0（ゼロ）」 「自己肯定感の向上」

いいところ見つけ
生活目標
今日の○○



肯定的回答・・・91.6%

☆端的に「はい」と言えるのは約半数。

☆「はい」と言えない児童がクラスに2、3人。

②教育相談・児童理解について

- ・いじめを見逃さないために、毎週学年の教員が集まり、子どもたちの困り感に関する情報を共有
- ・月に一回以上児童の困り感を把握するアンケートを実施
- ・「自分にはいいところがある」との自己肯定感を高めるために学校全体で「いいところ見つけ」を実施
「いいところ見つけ」については、学年やクラスによって方法は様々ですが、当番のいいところ、クラス全体のいいところなど、お互いに温かい言葉で認め合える取組を行いました。生活目標でも友だちのいいところをクラスで見つけ、短冊に書くという実践も行いました。

アンケートの「自分や友だちのいいところを見つけることができる」では、肯定的な回答が91.6%となり、一定の効果が見られました。まだ、「はい」とはっきり言えるのは約半数、「はい」とは言えない児童もクラスに数人はおります。継続し、定着を目指します。

<1年生より>

「Aさんが、えのぐをつかったあと、みんなのために、ろうかをそうじしていました。」

<2年生より>

「2日間、そうじがなかった時、先生が『昼休み、そうじするね』と言ったら、BさんとCさんとDさんとEさんが「手伝っても、いいですか?」と言って、手伝ってくれました。」

終わりの会などで子供が見つけたよいところの例です。

< 1, 2年生 >

<3年生より>

「Fさんはみんなの忘れ物をゼロにしようと、毎日、みんなの水とうをくばっています。」

<4年生より>

「学年レクリエーションで同じグループの人たちで、クラスがちがう人も、声をかけてくれて楽しく活動できました。」

< 3, 4年生 >

<5年生より>

**「Pさんは、いつもニコニコしていて、
今月の生活目標をできていて尊敬します。」**

<6年生より>

**「Sさんは、わたしが体調が悪い時に
『だいじょうぶ?』と声をかけてくれました。」**

< 5, 6年生 >

このような、日常のちょっとしたことを見つけられる子、言葉にできる子が増えていくことを大切にしたいと考えています。

生活についてのよかったところ、 課題となっているところ

- ◎「おこのみあじ」の意識が向上
- ◎友だちのいいところを見つける
- ◆各学級に1～3名程度の割合で「できる」と答えることのできない児童がいる
- ◆自分ごととして考えて行動する
- ◆自己肯定感を高め、心地よい学級・学校づくりを主体的に行う

学習について、よかったところと課題となっているところをまとめました。

基本的な生活習慣が身につけてきた児童がたくさんいます。また、友だちのいいところを見つける機会を全校で実践したことで、周りへのいいところを意識することができるようになってきました。一人の先生だけでなく、学校全体で実践していることの成果だと考えられます。

一方で校内の服装のきまりを守れない、校外での通学路や公園でのマナー違反など、自分のこと中心に考えた行動も時々見られます。近年、インターネットの普及により、見えない相手を想像したり、自分の行動のその後の危険を予測したりする経験が減っているように感じます。だからこそ、きまりのところでも話したように、ルールやきまりの意味を自分ごととして考えたり、様々な物事を他人ごとにならず、自分だったらと考えられるようになったらと考えます。

体力向上、特別活動について

責任ある行動

企画していく力

問題を解決しよう
とする姿勢

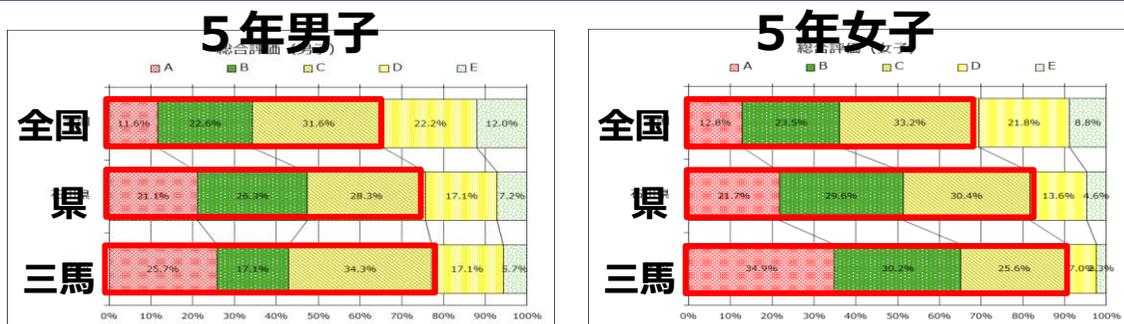
- ▶ 体力向上について
- ▶ 特別活動（特に、あいさつ）について

最後に、

- ① 体力向上
- ② 特別活動（特に、あいさつ）

についてご紹介します。

▶体力向上～スポーツテスト～



◎体力全般として、全国・県と比較して良好な状況

◎課題であった「投げる力」「俊敏性」「持久力」が向上

→「スポチャレいしかわのシャトルボール」「チャレンジマラソン」「チャレンジなわとび」「委員会なわとび技紹介」等の取組の効果

①体力向上

これは、5年生の取り組んだ全国スポーツテストの結果です。左が男子、右が女子で、いずれも三馬の赤枠の長さが全国や県よりも長くなっており、比較して良好な結果であったと言えます。

近年、本校の課題であった「投げる力」「俊敏性」「持久力」についても向上が見られ、昨年度までの取り組みの効果が表れてきたと捉えています。

それらの効果の継続をねらい、今年度は、普段の体育はもちろん、スポチャレいしかわシャトルボール、マラソン・縄跳びに期間を決めて集中して取り組んできました。

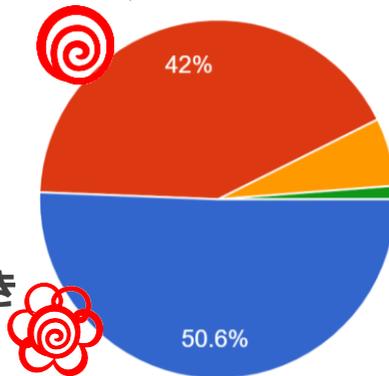
学校の教育活動全体を通し、バランスのよい体力の育成を目指して取り組んでいきます。

▶特別活動（特に、あいさつ）について 「友だち、先生、地域の人に進んであいさつしている」 ～児童アンケート～

毎月3のつく日「絆あいさつの日」

初企画

運営委員会が
清泉中に出向き
あいさつ運動



肯定的回答・・・92.6%

☆端的に「はい」と言えるのは約半数。

☆「はい」と言えない児童がクラスに2、3人。

②あいさつについて

・運営委員会の取組

毎月3のつく日の三馬絆あいさつの日

他の委員会で普段の仕事とあわせてあいさつ運動

さらに初企画

運営委員会が清泉中学校に出向いてあいさつ運動

アンケート結果も向上

体力向上、特別活動について よかったところ、課題となっているところ

- ◎体力の向上傾向が見られた
- ◎自分からあいさつできる児童が増加した
- ◎あいさつ運動で自発的な取組が見られた
- ◆各学級に2, 3名程度の割合で「あいさつできる」と答えることのできない児童がいる

体力向上、あいさつについて、よかったところと課題となっているところをまとめました。

来年度もあいさつの大切さ、そして、あいさつできるという自信を持って小学校を卒業できる学校を目指して取り組んでいきます。



今年度の取組については、以上です。

「概ねできてきた」から「できた！」と児童も教職員も言える状況を目指し、来年度も、教職員一丸となって、粘り強く取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

続けて、令和8年度の日課表について、一部変更がありますので、ご説明します。

◇次年度の日課について（変更点）

通常日課

①	登校	7:45 ~ 8:10
	朝の会	8:15 ~ 8:25
	1限	8:25 ~ 9:10
	2限	9:20 ~ 10:05
	長休み	
	3限	10:25 ~ 11:10
	4限	11:20 ~ 12:05
	給食	12:05 ~ 12:45
	昼休み	
②	てんまタイム(授業前)までわりそうじ(文庫)	1:10 ~ 1:20
	5限	1:25 ~ 2:10
	6限	2:20 ~ 3:05
③	終わりの会終了時刻	5限の時 2:20 6限の時 3:15

①朝学習がなくなり
「朝の会スタート」となる

②月水金は「てんまタイム」(昼学習)
火木は「たてわりそうじ」

③終わりの会終了が10分早くなる

令和8年度からの日課の変更点についてご説明します。

①朝学習の時間を変更し、8時15分から朝の会を始めます。

これまでは8時15分から10分間の朝学習を行っていましたが、登校直後は支度等で、落ち着いて学習できない児童の姿も見られました。

そこで、落ち着いて一日をスタートさせるために、学習から始めるのではなく、朝の会から始めることとしました。

これまでの朝学習の時間は、昼の時間帯へと移行します。

欠席や遅刻の場合は、引き続き8時10分までに、テトルへの入力を行っていただくようお願いします。

②月・水・金の昼休み後に「昼学習」を設定します。

5時限目の前にこの時間を設けることで、午後からの学習へ気持ちを切り替え、集中力を高めるねらいがあります。

なお、低学年の「英語ショートタイム」もこの時間に実施します。また、火・木については、たてわり清掃を行います。

③下校時刻が10分早くなります。

昼学習をこれまでのそうじの時間帯に移行したこと、昼学習・たてわりそうじを10分としたことに伴い、下校時刻は10分早くなります。

◇次年度の日課について（変更点）

	月	火	水	木	金
1年生	5	5	5	4	5
2年生	5	6	5	4	5
3年生	5	6	6	5	6
4年生	6	6	6	5	6
5年生	6	6	6	5	6
6年生	6	6	6	5	6

【1・2年生】
木曜日は4限まで
※たてわりそうじ後下校
終わりの会終了
→ 13時40分

4～6年生のクラブ活動、5・6年生の委員会活動は、今年度と同様、木曜6限に実施します。

また、1週間の授業時数についても変更がございます。

これまで1・2年生は木曜日も5時間授業を行っていましたが、年間を通じた授業時数が規定の時数を大幅に超えるため、次年度より授業時数の適正化を図り、4時間授業とします。

4時間授業の後、給食・昼休み・たてわりそうじを行い、下校となります。

終わりの会終了時刻は13：40です。

3～6年生につきましては、今年度と同様に5時間授業を行います。

ただし、4～6年生のクラブ活動、5・6年生の委員会活動は木曜日の6時間目に実施します。

活動がない木曜日は5時間授業で終了です。

3月には、令和8年度日課表を配付しますので、ご確認ください。

以上、次年度の日課についての変更点です。
ご理解とご協力をお願いいたします。